



農林中央金庫



私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



2021年11月11日

農林中央金庫

ジャパンリアルエステイト投資法人

サステナビリティ・リンク・ローンの契約締結について

農林中央金庫（代表理事理事長：奥和登）と、ジャパンリアルエステイト投資法人（執行役員：柳澤裕、以下「JRE」）は、サステナビリティ・リンク・ローン（以下「SLL」）による金銭消費貸借契約（以下「本件ローン」）を締結いたしました。

両社のSLLは2021年1月29日実行の2つのローン(計100億円)に続き、3回目となっており、前回のローンは、環境面においてモデル性を有し資金調達手法の先駆的事例を示すものとして、環境省「令和2年度サステナビリティ・リンク・ローン等モデル創出事業に係るモデル事例等」に選定されました。

JREは、環境への配慮・社会貢献・ガバナンスの強化といった、社会の持続可能性向上に取り組むことが、上場投資法人として期待されている社会的責務であり、投資主価値の最大化を図る上でも不可欠であると考えており、JREの資産運用会社であるジャパンリアルエステイトアセットマネジメント株式会社は、サステナビリティ方針を策定し、CO₂排出量削減、ZEB保有棟数、水使用量の削減などの主要指標（KPI）を設定しております。

ZEBとは、快適な室内環境を保ちながら、高断熱化・日射遮蔽、自然エネルギー利用、効率の高い設備により、できる限りの省エネルギーに努め、太陽光発電等によりエネルギーを創ることで、年間の消費する建築物のエネルギー量が大幅に削減され、エネルギー収支ゼロを目指した建築物です。2021年3月にJREは、保有する東五反田1丁目ビルにおいて、ZEB Readyの取得を行うなど、気候変動リスクへの対応を進めております。

また、農林中央金庫は、2021年5月に公表した中長期目標のなかで、サステナブル・ファイナンスを2030年までに新規実行10兆円を掲げるなど、サステナブル経営の実践を目指しています。本件は、JREのサステナブル経営にかかる長期ビジョンの理念に共感し、本件ローンによる資金供給を通じ、環境・社会課題のうち、当金庫の基盤となる農林水産業との関連が大きい気候変動問題の解決に貢献するものと評価し、本件ローンに対応いたします。

本件ローンでは、JREの「サステナビリティ方針」に基づく目標を踏まえて、CO₂排出量（2030年度目標：2013年度比35%削減、原単位ベース）とBELSにおけるZEB認証を取得した不動産※₁の保有棟数（2030年度目標：5棟）をSPTsに設定いたしました。

なお、本件ローンの契約締結にあたっては、SLL原則への準拠性や、設定したSPTsの合理性について、株式会社日本格付研究所より第三者意見を取得しており、上記SPTsについては、野心度および有意義性等の観点からSLL原則に適合していると評価されております。

※₁Nearly ZEB、ZEB Ready、ZEB Orientedを含む。

【本件に関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 企画管理部 広報財務 IR 班 03-5222-2017

ジャパンリアルエステイト投資法人 03-3211-7951

【本件ローンの概要】

案件①

- 実行日：2021年11月15日
- 融資期間：10年
- 金額：50億円
- 資金使途：借換資金及び手元資金

【本件ローンが貢献する主な SDGs】



【参考リンク】

JRE の ESG サイト：

<https://jre-esg.com/>

株式会社日本格付研究所による第三者意見：

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

以上